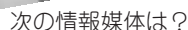


坂本 武人 議員



市長 条例改正後の行動の不十分さは自覚をするところであり、民主的な行政執行には情報公開は何より欠かせないということは私の理念でもある。提案されたことについては十分論議し、検討していきたいと思う。

坂本 情報公開条例の一部が改正されてから1年が経過したが、この間情報公開に関する政策的な変化や行動が見られない。激変していく時代を背景に、市民と行政との適宜な情報の流れは欠かせない状況下において、条例で努力規定がされているにもかかわらず、行政の無作為は遺憾と言わざるを得ない。従って条例の主旨に沿い一般市民、情報発信に関する民間のエキスパート及び行政から成る情報公開政策の立案に専念した定期的な研究会設置を求めること

付属機関の設置及び運営に関するルール化を

坂本 各種委員会及び審議会等、いわゆる付属機関の実態について把握したい。機関の総数と構成人数の総数、更に委員の兼務の実績について状況を伺いたい。

総務企画部長 52機関 657名の
委員さんがおられ、2つの機関に重
複在籍されている方は74名、3つが
16名、それ以上もおられ最多の方で
11機関を兼務されている方もおられ
る。

坂本 付属機関の役割は、財政力及び組織力の低下が否めない本市行政にあって大変重要である。ゆえに政策推進の根拠として絶対的な信憑性が不可欠なことから、それを得るための専門性と民主性を担保できる明確なルールが必要だと考えるが。

市長 多様な意見を把握するため公募制度を活用しているが実態が伴わないのも事実。効果を向上させるためのルール化に向けてご提案を参考にしながら着手していきたい。



10月2日
第238回熊本県市議会議長会（玉名市）

14日
議会全員協議会

20日～21日
産業建設常任委員会所管事務視察研修（都城市ほか）

23日～24日
総務常任委員会所管事務視察研修（西都市ほか）

28日
九州市議会議長会第3回理事会（宮崎市）

5日～7日
菊池地域議長会研修（鹿児島県ほか）

13日～14日
議会運営委員会視察研修（霧島市ほか）

19日
議会活性化調査研究特別委員会

19日
議会全員協議会

21日
議会運営委員会

A stylized illustration of a spinning top, a traditional Japanese toy. It has a cylindrical body with horizontal stripes, a pointed bottom, and a loop at the top. The illustration is positioned in the bottom right corner of the page.

先進事例等調査研究し、予算審査は常任委員会へ
分割付託とすることに決定

松井美津子
議員



市長 本市は人権啓発基本計画を策定し、人権尊重の大切さを謳っている。この取り組みの成果を見ながら、めざす規模が定まったら、人権尊重都市ということも目指して行きたい

松井 妊娠から出産まで14回必要とされる妊婦健診について、経済的な心配をしないで受診できるように14回の無料健診の拡充を求めるが

健康福祉部長 安心、安全な出産の

ズに行われるよう努めて行きたい。

松井 アメリカは、黒人大統領の誕生で長い間キング牧師の夢だった肌の色ではなく、内なる人格で評価される国が用意されました。本市も、子育て日本一の人権意識の高いまちづくりのために、人権尊重都市宣言を！

松井 中小企業の資金繰りの支援のための緊急保証制度について、信用保証協会による100%保証の徹底認定事務の対応はスムーズに出来ていますか。

産業振興部長 市のホームページと広報に掲載し、商工会や金融機関と連携を図りながら認定事務がスムー

確保という観点から妊婦が健診費用の心配をせずに、公費負担の拡充をする。と政府が打ち出している。第二次補正予算案の成立を受けて、本市でも実施の方向で検討していく。ただし実施の時期は未定である。

松井 地上デジタル放送に向けて行政の果たすべき役割について、地デジ移行のことを高齢者や障がい者への周知徹底をどうするのか、65歳以上の高齢者のみの世帯を対象に、地上デジタル受信機の購入、設定の費用を一部補助できませんか。

健康福祉部長 国と連携しながら市民に周知していく。安価なチューナーの開発もされている。補助については総務省の動向で考えていく。



池永 幸生 議員

池永 県下初のシステムの試行期間が過ぎ、09年度から制度がスタートする。試行結果の元での取り組みなどがどのように施行されるのか。

総務企画部長 ①政策のマネジメン
トサイクルの確立。②市民起点での
行政体質改革の実現。③政策の再構
築と将来につけを残さない事業の選
択。④職員間の共通言語としての活
用、情報の共通化。この4項目の目
的に達するための手段として、市総
合計画と連動させ、課題解決のため
成果主義を優先に行政仕組みを変え
て試行していきたい。

池永 事業内容にソフト面とハード面がある。実績数値がハード面には表れるが、ソフト面では評価しづらいと思う。また、多大な予算を組むわけだが費用対効果はあるのか。

総務企画部長 事務事業の中で、ハード面、ソフト面を分けてはいないが、成果指標を設定している。しかし数値で計れないものは、設定しない。費用対効果については、市民の皆さん、議会がこのシステムをまち

女性管理職ゼロ

池永 必要、不必要の事務評価の色分けで予算のスリム化は図れないか。

総務企画部長 職員もまだ完全に理解出来ていない状態である。事業内容については修正をしながらスリム化にも取り組みます。



研修員の評価システム



評価システムの議員研修

池永 現在市役所内で女性管理職が1人も在職されていない。登用をこれまでにも提言してきた。男女共同参画条例も設定されている。任命権者である市長は積極的に取り組む。

市長 実現していない現状である。男女共同参画は進めているがこれまで女性が不合理、矛盾された時代があった。職階の問題もあるが、来年度の異動で積極的に取り組む。

